

履修について

フィールドワーク演習・実習では、地域課題解決の基礎力を培うため、「地域への関わり方」「課題の発見力」「課題の解決力」を学びます。

発展科目であるアドバンストフィールドワーク演習・実習では、課題解決に要する対話を養うために、「ファシリテーション」や「ワークショップ手法」について学んでいきます。

これらの科目での実践的学びを通じて、地域貢献をなしうる技術・態度の獲得を目指します。

※ファシリテーション：会議や講座、集団活動などにおいて、一人ひとりの個性や多様性を活かしながら、創造的で、生産性の高い議論や学び、人間関係づくりを促進するスキル。



科目	配当回生	開講	単位数	実習費
フィールドワーク演習	1~4回生	前期	1	一
フィールドワーク実習	1~4回生	前期集中	1	2,000円(予定)
アドバンストフィールドワーク演習	2~4回生	後期	1	一
アドバンストフィールドワーク実習	2~4回生	後期集中	1	3,000円(予定)

フィールドワーク演習・実習

フィールドワーク演習・実習は、市民団体の活動や地域のまちづくりプロジェクトへの参加を通じて、「地域を知る」ことから始めます。

本演習・実習では、地域で課題解決に取り組む多様な実践者を講師に迎えるとともに、それらの実践者と取り組みをともにすることで地域課題解決の基礎力を培っていきます。

対象：社会福祉学科1回生以上 / 受講定員：15名程度

※土・日曜日にフィールドワークに参加可能である者

演習・実習の内容



課題の発見

「こどもと行こう祇園祭」プロジェクトに参加。取り組みの背景にある実践者の想いや、地域の課題（祇園祭の歴史・文化の継承）を知る。

地域を知る

専門家の案内のもと、八坂神社や錦町を巡る。実際に見聞きしなければわからないことがたくさん。



課題の解決

危険けちまきて、ご存じですか？親子に祇園祭をわかりやすく伝えれるリーフレットをコドモト（受入団体）と受講生が協働で制作。



地域に関わる

祇園祭ごみゼロ大作戦にボランティアスタッフとして関わる。

アドバンストフィールドワーク演習・実習

地域において、まちづくりや地域活動を行っていくためには、多様な人々や主体（市民団体、地縁組織、民間企業、行政機関など）との協働が不可欠です。協働の際に重要なのは、自身の想いや他者の考えを共有・深化させる「対話力」。

本演習・実習では、グループワーク等を通じて、ファシリテーション技術やワークショップ手法を学ぶとともに、実際に対話の場（ワークショップ）に参加することで技術だけではなく、対話の態度・姿勢を養います。

対象：社会福祉学科2回生以上

受講定員：15名程度

※フィールドワーク演習・実習を受講済みであることが望ましい。

こんな人におすすめ！



演習・実習の内容

ファシリテーション

ペアワークの中で、話す力、聴く力を高めていきます。



ワークショップ手法

グループワークを通じて、ワークショップの手法を体感しながら学んでいきます。



地域に学ぶ

実習では、行政機関等が主催するワークショップに参加し、参加者との交流を通じて、対話力を養います。

